

富士紀行 (65) 富士山に緑を！ (300年計画) (H13/4/17 記)

先日の日曜日(15日)に秩父宮御殿場御別邸の一般公開があつて見学してきた。昭和16年からの10年間を御殿場の地で肺結核御療養のため過ごされて、特に戦後は地元とも深い関わりを持たれたようである。そして昨夕には雅子様御懐妊の可能性ありとのビッグニュースが飛び込んできた。最近の暗い話題ばかりの中、一服の清涼剤と言ったら不謹慎か。秩父宮家が秩父宮妃勢津子殿下の薨去(H7/8/25)により断絶したことを思えば天皇家にとって久々の明るい話題である。

前号を書き上げてアップしようと思っていたら、先日(4/16)富士山ナショナルトラストの役員2名が来校され、お話を伺う機会を得た。前号と密接な関連があるので、敢えて採り上げたい。

世界遺産に登録されるか否かの鍵の一つは自然破壊への対応であることは記述の通りである。宝永噴火(1707)から間もなく300年になろうとしているが、噴火の後遺症は余りにも大きいと言わざるを得ない。2,500メートル付近にまで生えていた原生林が焼失し、富士山東南麓は火山砂礫荒原と化し、300年という時を経ても今なお火山荒原である。須走方向から富士山を見て貰えば小富士の方は緑があることは解るが、それより左宝永山までの間は雪がかなり下まで白く冠雪している様が見て取れる。これが火山荒原である。緑を長いこと拒んできたこの荒れ地に緑を取り戻そうという運動が「富士山ナショナルトラスト」の活動である。

[宝永噴火については、富士紀行4号参照](#)

[本号と関連ある富士紀行「アザミで緑を」21号参照](#)

富士山のこの地域は植林と言う観点からは、砂礫であること、風が強いこと、雪崩や雪代、或いは台風等の影響にもあり、極めて困難否不可能であるとすら言われている。更には気温の影響もある。冬は零下20度にもなり、夏には60度を超え、少しの日光で砂礫が夏の海岸の砂の如き温度(約60度)に上昇するという過酷な気象条件も重なる。このような悪条件を克服するためにはどうすればいいのかの真剣な研究が為された。現地調査や植栽に適する植物の検討がなされ、「バッコヤナギ」が先駆植物として最終選抜され、その植栽により他の草木や樹木の進出を促そうという間接的手法による富士山緑化が計画された。

これに触発される形で地元の自然保護会やボランティアの活動が為された。しかしながら、もっと組織的な運動が必要であるとの考えの下に平成5年、富士山環境保全のためのナショナルトラスト運動が公表され、若干の紆余曲折を経て平成8年3月9日、御殿場市の富士社会教育センターに置いて発会式が行われた。(社)日本ナショナルトラストに加盟している。

具体的な活動と自衛隊や地元の協力状況を若干紹介しよう。

1 富士山ナショナルトラストの活動

- ① 富士山南東麓の緑化活動 バッコヤナギの植樹
 - ・ 穂木採取、穂木挿し、苗づくり、植樹活動
 - ・ 先駆植物の草花の種子採取と種子蒔き
 - ・ 学校、会社、団体、個人が穂木を里親になって育て、その翌年苗を植える。
- ② 広葉樹の育苗と絶滅危惧植物の保全
 - ・ ブナ、ミズナラ、ナナカマド等の広葉食物の幼苗・種子の採集とその育苗
 - ・ 絶滅危惧食物の保全 ミンマサイコ他
 - ・ 目にやさしい緑の街作り
- ③ 自然の素晴らしさに感動して、自然が好きになり、自然を大切にする心を醸成し豊かな心を育む場にするための活動
 - ・ 自然観察会などの心を育てる活動
 - ・ 先人の知恵の伝承

● 何故バッコヤナギか？

お話を伺った限りでは、彼の食物は根をしっかりと張るのだそうだ。そして素晴らしいことに地上部分が雪崩や動物にやられても翌年には新しい芽を吹くのだそうだ。雑草の如き強さを持っているので、砂礫荒原に最適の食物なのだそうだ。

● 地域の活動と自衛隊

地元御殿場や須走の小・中学校の児童生徒が課外自然教育の一環として、バッコヤナギの植栽に協力している。自衛隊も富士教導団が、5月の演習場定期整備の時期に合わせて数十名でもってこの事業に協力している。本日のお話では、隊員は力もあるので、挿し木用の穂木作成に協力しているようだ。感謝の念を何度も表明された。秘書班の庶務幹部もこの植栽事業に参加したことがあるとのことである。最近ではバスツアーを組んで本植栽事業に参加されるボランティアの方も多いそうだ。

地元の子ども達や地域の人々そして自衛隊の隊員がささやかなボランティア活動をしているが、一説には数百年を要するかも言われるこの活動がもっと多くの方々に支えられ、そしてこの輪が大きくなっていかねばならないのだと思う。ボランティアというのは大仰に考える必要はない。自分に出来ることで貢献できるそれで良いではないか。

力のある者は力を金・財力のある者は金を出せば良い。金も力もなかったら知恵を出せば良いではないか。皆さんの参加を富士山が待っている。

(参考：百科事典、富士山ナショナルトラストの機関誌、パンフレット等)